

## 相模原

50号特集 ■ 各地域協議会のあゆみ

## 連協のあゆみ

我々相模原市青少年指導員連絡協議会は、指導員の連絡提携により指導力の充実を図り、地域社会における青少年活動を推進することを目的とし昭和38年に組織されました。

## ■ 青少年指導員のあゆみ

本市の青少年指導員制度については、昭和30年に結成された郊外生活指導者連絡協議会の結成をきっかけに、前身である少年指導員が昭和39年に制度化され、神奈川県発足後の昭和45年から、現在の制度に改正されたものです。発足当初は定数80名でしたが、現在は市町村合併に伴い定数248名となっています。

昭和30年	相模原市郊外生活指導者連絡協議会結成
昭和38年	相模原市少年指導員連絡協議会に改称
昭和43年	神奈川県青少年指導員制度が発足 「はげいとう」第1号発行
昭和45年	相模原市青少年指導員連絡協議会に改称
昭和48年	「連協だよ」第1号発行
平成3年	当協議会が、相模原市一般表彰(団体)を受賞
平成17年度	連絡協議会設立50周年を迎える 相模原市が津久井町・相模湖町と合併
平成18年度	相模原市が城山町・藤野町と合併 「新相模原市誕生」
平成20年	27地区並びに定数248名となる



魚つりコーナー



青少年指導員ミニ運動会

## ■ 主な活動として

青少年指導員連絡協議会として、1年間通して様々な行事やイベントに参画しています。中でも、市民桜まつりには延べ150名以上の指導員が2日間に渡り参画しており、定番となった「昔あそびコーナー」から「魚つりコーナー」、毎年違った工作が出来る「日用品で創る工作コーナー」など、数種のブースを設けることで、多くの子ども達が訪れ賑わいを見せています。

4月	市民桜まつり
5月	子ども会交歓スポーツレクリエーションフェスティバル
9月	青少年指導員ミニ運動会
10月	スポーツフェスタ
11月	親子ふれあいの広場

また、普段は27の地区に分かれて主に地域の公民館を中心に活動している指導員ですが、特徴的な活動をしているところがあります。その中で《相模湖地区》を紹介します。

相模湖地区青少年指導員の中に、中学校の部活動外部指導者として茶道を指導しているものや、着付けの専門家などがいたため、「日本文化に親しもう!!」をスローガンに公民館まつりで体験茶道コーナーやゆかたの着付けコーナーを設けたところ、幼稚園・小中学校から実施依頼があり、年間5回程の体験茶道を実施しています。

これから海外に飛び出していくであろう青少年に、お互いの心を和らげてつつしみ敬う「和敬の精神」を始めとする世界に誇れる日本の文化に親んでもらうため、きっかけづくりとして様々な取り組みをしています。



茶道教室